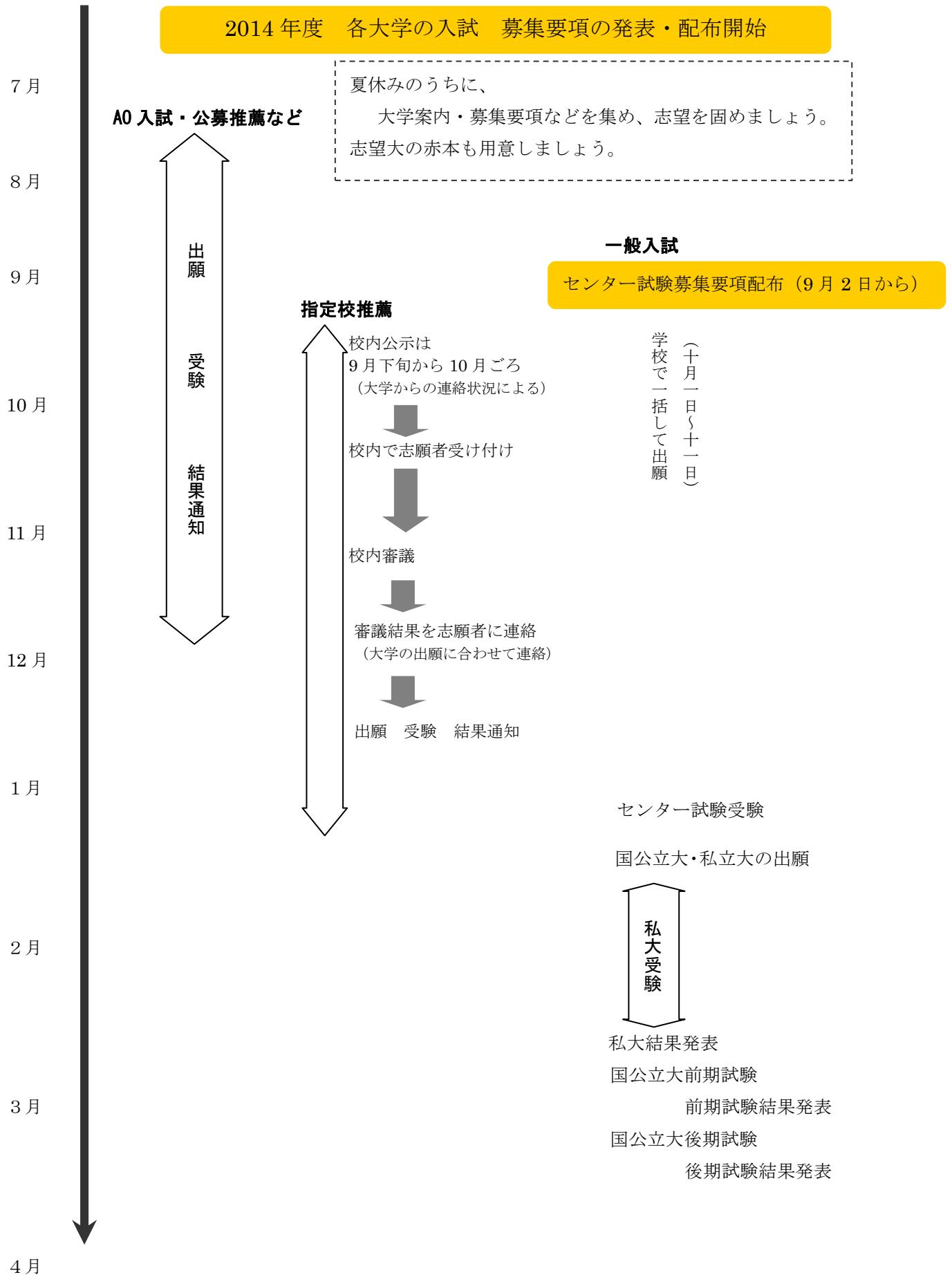


# H3 受験にむけて

## 夏休みの宿題

- ◇ 保護者の方と進路についてよく話し合う
- ◇ 受験する者は、大学センター試験受験案内（要項）入手すること  
(詳細は2ページを参照)
- ◇ できるだけ志望大の大学案内・入試要項を入手しよう
- ◇ 志望理由書を2学期初めに提出してください

# 大学入試のスケジュール



## 2014年度入試 スケジュール

2012.10月現在

	分離・分割方式	国公立大学		私立大学 短期大学
		中期日程(公立大学のみ)		
2013年	7月	31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表	AO入試
	9月	初旬~	大学入試センター試験 受験案内配付	
	9月~10月	大学入試センター試験 検定料等払込		
	10月	10月初旬~中旬	大学入試センター試験 出願	
	11月			
	12月	~15日	募集要項発表	推薦入試
2014年	1月	18・19日	大学入試センター試験(本試験)	一般入試 (2月)
		18・19日	大学入試センター試験 正解等の発表	
		22日予定	大学入試センター試験 平均点等の中間発表	
		~24日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表	
		24日予定	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表	
		25・26日	大学入試センター試験(追試験・再試験)	
		27日~2月5日	2次(個別)試験 出願	
	2月	6日予定	大学入試センター試験 平均点等の最終発表	
		~12日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表	
		~12日	第1段階選抜の結果発表(前期)	
		~19日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続	
		25日~	前期日程試験	
		~28日	第1段階選抜の結果発表(後期)	
3月		1日~10日	合格発表	一般入試 (3月)
		(国立は6日~)		
		12日~	後期日程試験	
		~15日	入学手続	
		20日~24日	合格発表	
		~27日	入学手続	
		28日~	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験	
		~31日	入学手続(第2次締切)	
4月		16日~	大学入試センター試験 成績の本人開示	

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

# センター試験出願手続き～夏休み中に必ずすること～

## ①センター試験の受験案内（要項）をもらいに行く。

各自最寄の大学に直接出向き、受験案内を入手する。記入を誤ったときに備え、2部入手しましょう。  
(中に、受験料の振込用紙と志願票がはいっています。)

## ②検定料を納付する。納付期間は9月2日(月)～10月11日(金)

検定料を納付する時に決めること

### 1. 受験科目数

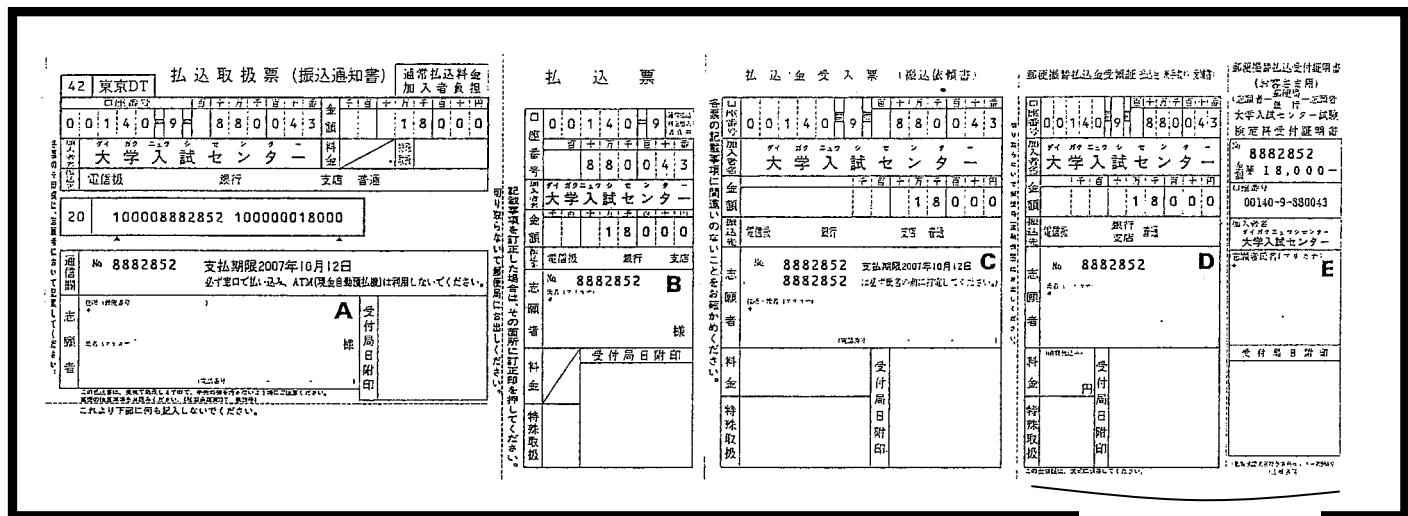
(2科目以下受験 もしくは 3科目以上受験)

### 2. 成績開示の希望の有無

※成績の開示は来年度4月になってからです。

受験料（受験科目・開示希望有無）

	2科目以下	3科目以上
開示なし	12000円	18000円
開示	12800円	18800円



## 払込書

これを使って、郵便局か銀行で検定料を支払う。

その場で必ず「受付局日付印」が押されていることを確認すること。

DとEの部分が返却されるので、Eの部分を来学期学校にもってくること（Dは各自の控えです）。Eは志願書に貼り付けます。

受験料納付は日本からしか出来ません。帰国予定のない人は、必ず上の①、②を誰かにお願いしてやってもらってください。ただし、志願者の欄には受験者本人の氏名を記入してもらうこと。

夏休み後、学校へ忘れずに持って来なければならぬもの

### ①検定料受付証明書E

### ②受験案内の冊子2部 (志願票は未記入のまま持ってくること)

### ③確認ハガキの送付先の住所・電話番号 (これが受験地となります)

## 帰国生試験、自己推薦等について

### ● 帰宅後すぐに試験要項を手に入れること。

- ・出願期日、試験日程を確認
- ・出願資格を確認（在外教育施設は可か、保護者の海外駐在歴の規定、評定平均、英検等の資格）
- ・校長推薦、担任推薦等は必要か、を確認
- ・専願のみか、併願も可か、を確認

### → 学校に連絡する

### ●過去数年間の帰国生試験・自己推薦結果一覧

大学学部学科	種別	試験	結果
筑波大学 社会国際学群国際総合学類	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接	不合格
筑波大学 生命環境学群生物学類	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接	不合格
筑波大学 芸術専門学群	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接、実技	合格
大阪府立大学 理学部生物科学科	一般公募 <校長推薦>	センター試験結果	合格
岩手医科大学 薬学部	一般公募 <校長推薦>	筆記試験、面接	合格
北里大学 獣医学科動物資源学科	一般公募 <校長推薦>	作文、面接	合格／不合格
和歌山大学 観光学部	一般公募 <校長推薦>	面接	不合格
駒澤大学 経営学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
京都外国語大学	一般公募	筆記試験、面接	合格
金城大学 人間科学部	一般公募	筆記試験、マーク式	合格
慶應義塾大学 法学部	AO 入試	書類審査、論述等	合格
慶應義塾大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
国際医療福祉大学 理学療法学科	一般公募	筆記試験、面接	合格
上智大学 外国語学部	海外就学受験者(帰国生)	小論文、面接	不合格
上智大学	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
成城大学 文芸学部 経済学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格 不合格
専修大学 経済学部国際経済学科 文学部	帰国子女枠 (保護者海外歴必要なし)	作文、面接	合格 不合格
法政大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 商学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
東洋大学 経済学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
日本大学 文理学部	自己推薦入試	筆記、面接	不合格
日本大学 商学部 法学部	帰国子女枠 (保護者海外歴二年間)	筆記試験、面接	不合格 不合格
東京薬科大学 薬学部	一般公募	筆記試験	合格
南山大学 人文学部 外国学部	外国高等学校卒業者入試 (立教英國学院認定)	筆記試験、面接、作文	合格 合格
早稲田大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
上智大学 総合人間科学部看護学科	帰国生入試	筆記、面接	合格
東洋大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	合格
駒澤大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	不合格
日本大学 理工学部	一般公募	筆記、面接	合格
慶應義塾大学 文学部	推薦入試	書類審査、論述等	不合格
京都女子大学 現代社会学部	一般公募	筆記、面接	不合格
玉川大学 芸術学部	帰国生入試	筆記、面接、実技	合格
東京工芸大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	合格
多摩美術大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	不合格
法政大学 グローバル教養学部	自己推薦特別入試	筆記、面接	不合格
防衛大学校	推薦入試	小論文、面接、身体検査	不合格
東京外国語大学 言語文化額学	一般公募 <校長推薦>	センター試験	不合格
神戸大学 医学部	AO 入試	センター試験	不合格

# AO・公募推薦入試とは？

## ■推薦入試制度

### (1) AO入試

AOとはAdmission(s) Officeのことであり、独自の入学者選抜機関が入学者選抜を行うというものです。日本では慶應義塾大学が最初にAO入試を行ったことで有名です。

書類審査と面接による選抜が主ですが、大学によりその選抜方法は大きく異なります。自分で自分自身を推薦し出願するものがほとんどであり、ということは校長の推薦がいらないという事が言えます。

●AO入試は「個性」「意欲」「姿勢」「適性」を重視！

公募推薦入試が学力や活動面を重視するのに対し、AO入試は大学への「個性」「意欲」「姿勢」「適性」が大きなポイントとなります。ですので、選抜方法は書類審査と面接を通じ、生徒個人を多角的に審査していきます。その他にも大学によっては、大学の模擬講義を受け、その後その講義に関するレポートを作成させたり、グループディスカッションで討論能力を審査したりなど、様々な方法で選抜を行っていきます。まさに「大学生としての適性」が試される試験といえるのです。

出願に関しては、成績面での基準がない大学が多いのも特徴です。あくまでも学力試験では測れない生徒の個性や適性を重視するということです。言い換えれば、だれでも出願が出来るということになりますが、勿論、簡単に合格はできません。公募推薦に比較し倍率が高めになることも多く、だからこそしっかりと対策が必要になるということが言えます。

慶應大SFCや法学部、早稲田大の国際教養学部や政治経済学部など多くの私立大、横浜市立大学などの国公立大で実施しています。

1. 人間力=面接や志望理由書、小論文試験などであなたの人間力が判断されます。
2. 資格=英語力(TOEFL TESTや英検など)が高いほど有利になるケースが多くあります。
3. 学校の成績=学校の成績は合否判定に算入しない大学もありますが、判断材料のうちのひとつです。

※AO自己推薦は、ほぼ例外なく他大学との併願が可能です。

### (2) 公募推薦入試型

指定校と性格は良く似ていて、「校長の推薦を得る」ことが基本的な出願条件となります。もちろん、全ての大学ではありませんが、大半の大学はこの条件の下、生徒募集を行います。

多くは出願に必要となる数種類の書類を作成し提出、その後小論文試験や面接などを経て合否が決まるというのが一般的です。国公立大ではセンター試験を課す大学とそうでない大学とに分かれます。これにより出願日が大きく異なってきますので注意が必要です。

指定校と違い、出願することではほぼ合格するということではなく、倍率も大学によって様々となります。比較的出願しやすい条件の大学が多いですが、ライバルもいるわけですから、万が一不合格だった場合の事を考えて、一般入試の対策もおろそかにできません。ここが公募推薦を受験するにあたってのポイントとなります。

主に学業成績である評定平均が出願条件となる大学が多く、この条件をクリアしていないと出願自体できません。しかし、全ての大学が基準を高いているわけではなく、3.0程度で出願できるところから、高いところで4.5など、評定平均の幅は様々です。その他、スポーツやクラブ活動、文化活動、課外活動や保有資格などの実績を評価し選抜する「ユニーク推薦」というものもあります。高校生全員が保有できるものではないことから、倍率も高くないことが多々あります。また校長はなく、自分自身が自分を評価し推薦する「自己推薦」なるものもあります。

冒頭で述べたとおり、基本的には「校長の推薦を得る」ことが条件となります。ということは指定校推薦と同じでその高校の代表者であり、結果、専願のみの募集というのが大半です。指定校推薦と同じく入学辞退はタブーとされる、ということです。

公募推薦は、上智大学、日本大学、獨協大学、明治大学など多くの有名私立大学のほかに、千葉大学など国立大学でも実施されています。

1. 学校の成績=評定平均4.0以上などが受験資格となっています。
  2. 人間力=面接や志望理由書、小論文などであなたの人間力が判断されます。
  3. 資格=多くの場合、TOEFL iBT TESTで61点以上または英検2級など英語資格が最低条件となっています。
- ※多くの大学が上記①③を絶対条件にしています。上智大国際教養学部はTOEFL TESTで79(iBT)点、評定平均4.0以上などの絶対条件を設けています。

### (3) 指定校推薦入試

大学側より指定した高校から生徒を選抜する推薦入試です。主に選抜方法は、高校在籍時の評定平均により選抜されます。しかしながら、各大学学部からは1、2名の募集ということが大半であり、その少ない席を巡って同高校内で争うことになります。選抜されればほぼ合格となることが多い推薦ですので、熾烈な争いになるのは目に見えており、普段からしっかりと学内テストで結果を出している生徒が有利になることは間違ひありません。

勿論、その高校を代表してその大学に進学するようなものですから、入学辞退はタブーとされています。なぜならば、高校と大学とのパイプに影響を与えててしまうからです。ですので、出願がかなう大学に関してはよく調査して、自分に合っているかを見極めることも非常に重要なことといえます。

※学校の成績＝学校の評定平均や出席日数などで決まります。

### ★推薦入試とAO入試の違い

AO入試は原則として高校の推薦書が不要です。推薦入試とAO入試の最大の違いは、AO入試では原則として高校の推薦書が必要ないということです。だから大学が提示した応募条件を満たしていれば誰でも応募することができます。また推薦入試では評定平均値が一定以上など、学業成績の基準が設けられていることがほとんどですが、AO入試ではその基準があるのは少数派です。そのぶんAO入試では、どうしてもその大学に入学して真剣に学びたいという意欲が重視されます。

当然、志望大学の中身を良く知ることが必要になる訳です。大学のパンフレットやシラバスなどを入手して熟読しておきましょう。

### ★AO入試例

#### 慶應大学環境情報・総合政策学部例（2013年度入試例）

募集人員	4月学Ⅰ期・Ⅱ期、9月入学、海外出願、GIGAプログラム（環境情報学部のみ）をあわせて総合政策学部・環境情報学部ともに100名、両学部合計200名
選考方法	A方式 1次選考（書類審査）、2次選考（面接） B方式 1次選考（書類審査）、2次選考（面接） C方式 1次選考免除、2次選考（面接）
＜総合政策学部例＞ 出願期間および選考日程	2013年 4月入学Ⅰ期 A・B・C方式 ・出願期間：2012年7月2日(火)～8月8日(火) ・1次合格発表：2012年9月27日(木) ・2次選考：総合政策学部2012年10月6日(土) 環境情報学部2012年10月7日(日) ・2次合格発表：2012年10月9日(火)  2013年 4月入学Ⅱ期 A・C方式 ・出願期間：2012年9月18日(火)～10月24日(水) ・1次合格発表：2012年11月29日(木) ・2次選考：2012年12月8日(土) ・2次合格発表：2012年12月10日(月)  2013年9月入学 A・C方式 ・出願期間：2013年5月7日(火)～2013年6月19日(水) ・1次合格発表：2013年7月11日(木) ・2次選考：2013年7月20日(土) ・2次合格発表：2013年7月22日(月)
出願書類(A方式例)	＜Web入力するもの＞ ア. 志願者に関する履歴等 イ. 志願者評価 ウ. 活動報告 エ. 志望理由・入学後の学習計画・自己アピール(①文章および②自由記述) オ. 任意提出資料(資料がある者のみ) ＜郵送で提出する書類＞ カ. 入学志願票 キ. 入金票(「AO入試入学検定料銀行振込受付証明書」(B票)貼付) ケ. 成績・卒業に関する証明書類等(密封されたもの) ケ. 國家試験等の統一試験の成績証明書(外国の教育制度による高校出身者のみ) コ. 日本語能力試験結果／日本語学習歴関係書類(日本語を母語としない者のみ) サ. 登録原票記載事項証明書(日本国内から出願する外国籍の者のみ)

他にもAO入試・自己推薦入試を行う大学は多数あります。興味のある人は調べて、試験要項を必ず手に入れよう。

## 受験に際しての注意

- 進路の決定には、模擬試験の結果を参考にして下さい。夏休み後の模擬試験で少なくとも C 判定が出ていますと、その後の学習努力によって志望校が圏内に入ってくる可能性が広がります。夏休み中にも予備校に個別に申し込むことで模擬試験は受けられます。8月中～下旬のものは、夏休みの努力が表れますので受けてみるとよいでしょう。
- AO 入試、公募推薦入試、帰国生入試（指定校推薦以外の入試）の併願は可能です。  
但し、『合格した場合は必ず進学する』ことを条件とした入学試験は、他の入試と併願で受けられないことがあります。入試要項をよく読んで下さい。
- AO 入試・公募推薦入試・帰国生入試と、指定校推薦の併願はできません。 指定校推薦の前に、AO 入試などの出願をすることは可能ですが、受験した場合指定校推薦の出願資格を失いますので注意して下さい。
- 指定校推薦の校内審査は、大学の示す要項にしたがって行われます。校内審査の結果は出願時期に併せて、希望者に通達されます。時期が 11 月下旬から 12 月初旬になることもあります。この場合に、校内審査を通らなかったので AO 入試を受けてみよう、といったことはほぼ出来ませんので、注意して下さい。指定校推薦に希望を出すことは、同時に、結果が思わしくなかったときには一般受験をすることを念頭において準備して下さい。
- AO 入試や公募推薦など 2 学期に入試があるものを考えている場合は、夏休み中に入試要項を取り寄せ準備を整えて下さい。必ず入試要項を 2 学期に持ち帰ってきて下さい。書き損じにそなえて、要項は 2 部用意しておくと安心です。
- 夏休み中（冬休み・年明けも）に調査書の発行を依頼する場合は、生徒本人が学校へ連絡して下さい。 時間に余裕をもって連絡して下さい。2 週間ほど前までが目安です。 急を要する場合は国際速達便を使って送りますが 5 日程度はかかると考えて下さい。郵送料は個人負担となります。

連絡の際に伝えることは

- 受験する大学・学部・学科
- 受験する入試の種類 (AO 入試、公募推薦、帰国生入試など)
- いつまでにほしいか

- 入試の種類にかかわらず、発行した調査書を実際に大学に提出しなかった（出願をしなかったので使わなかった）場合は、必ず学校へ返却して下さい。
- 2 学期に受験のために一時帰宅しなければならない場合は、保護者の方から連絡してもらって下さい。入学試験に重複している・翌日であるなどのやむを得ない場合を除き、期末考査は原則として受験できるよう予定を立ててください。
- 休暇中などに学校へ連絡・相談する必要が出た場合には次のようにして下さい。

時間的余裕がある場合

E-MAIL で構いません。

但し、休暇中は毎日チェックできませんので、確実ではありません。

確実に連絡したい時は学校へ電話を掛けて下さい。

連絡先は、mykurashina@googlemail.com (倉品)

急を要する場合 直接話した方が早い場合

学校へ直接電話を掛けて下さい。休暇中でも日直の先生が待機していますので、伝言してもらいます。日直の先生が席を外しているときは、掛け直すか、電話に出た英人スタッフに伝言を残して下さい。  
連絡先は、+44-(0)1403-822107

- センター試験出願については、別紙（3 ページ）を参照のこと。

# 夏休みの勉強について

- ◊ 夏休みは『受験の天王山』
- ◊ 基礎がためをじっくり行おう
- ◊ 志望大の赤本を入手しよう

夏休みは『受験の天王山』と言われ、この長い休みをどう過ごすかが受験の分かれ目となります。授業・行事・日常生活に追われがちな1学期中と違って、2ヶ月じっくり勉強に取り組めます。毎日8時間でも10時間でもそれ以上でも、時間をたっぷり使ってじっくり勉強に取り組んでください。

学習の目標は『基礎がため』です。応用力養成は2学期に入ってからでもよいと言われます。けれども応用力を養うには、基礎がなっていなければ出来ない。高1からの3年間の学習の総まとめを行い、基礎力をつけてきましょう。

2学期の学習に向けて、受験勉強の題材となる参考書・問題集を改めて見直し、必要があれば用意しましょう。特に『赤本』。志望大の過去問題集を手に入れ、2学期に取り組めるようにしましょう。

## 【参考資料】代々木ゼミナール模擬試験 2013 年度スケジュール

出題内容・申し込み方法など詳細は、代々木ゼミナールに問い合わせてください。  
駿台予備校など他の予備校も調べて受験してみてもよいでしょう。

		大学別入試プレテスト
7 月	7/14(日) 全国論文テスト 7/21(日) 第2回全国センター模試(北海道 7/28)	7/13(土)・14(日) 第1回東大入試プレ 7/28(日)第1回京大入試プレ(北海道 8/4)
8 月	8/4(日) 国公立医学部模試 8/25(日) 第2回全国総合模試	8/11(日) 第1回早大入試プレ 8/18(日) 九大入試プレ
9 月	9/29(日) 全国センター模試	
10 月	10/27(日) 私立医・歯・薬模試	10/27(日) 東北大入試プレ 阪大入試プレ
11 月	11/3(祝) 第3回全国総合模試	11/4(振) 一橋大入試プレ 東工大入試プレ 名大入試プレ  11/10(日) 第2回京大入試プレ(岡山 11/17) 第2回早大入試プレ(岡山 11/4) 岡大入試プレ  11/17(日) 北大入試プレ(新潟 11/23) 広大入試プレ 熊大入試プレ  11/23(祝)・24(日) 第2回東大入試プレ(近畿・中国 11/16・17)  11/24(日) 神戸大入試プレ(北海道 11/23) ※岡大・広大入試プレは中部以西、 熊大入試プレは近畿以西のみで実施。
12 月	12/1(日) センター試験プレテスト (北海道 11/24、新潟 11/17、 近畿・中四国 11/23) 12/8(日) 第4回全国総合模試 12/15(日) 国公立記述模試	12/31(火) 慶大入試プレ